

平成 24 年 1 月期 中間決算短信 (平成 23 年 1 月 21 日～平成 23 年 7 月 20 日)

平成 23 年 9 月 2 日

ファンド名 上場インデックスファンド S&P CNX Nifty 先物 (インド株式) 上場取引所 東証
 コード番号 1549
 連動対象指標 S&P CNX Nifty 指数先物
 主要投資資産 投資信託証券
 売買単位 10 口
 管理会社 日興アセットマネジメント株式会社 URL <http://www.nikkoam.com/>
 代表者名 取締役社長 ビリー・ウェード・ワイルダー
 問合せ先責任者 ETFセンター 今井 幸英 TEL (03)6447-6581

半期報告書提出予定日 平成 23 年 10 月 20 日

I ファンドの運用状況

1. 23 年 7 月中間期の運用状況 (平成 23 年 1 月 21 日～平成 23 年 7 月 20 日)

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 7 月中間期	860	(99.9)	0	(0.1)	861	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
23 年 7 月中間期	1,000	0	0	1,000

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10 口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末発行済口数) × 10)
	百万円	百万円	百万円	円
23 年 7 月中間期	864	2	861	8,613.3

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更
 ② ①以外の変更

無
 無

Ⅱ 中間財務諸表等

（１）中間貸借対照表

（単位：円）

科目	期別	当中間計算期間末 平成23年 7月20日現在
		金額
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		3, 223, 214
投資信託受益証券		860, 862, 610
親投資信託受益証券		20, 014
未収利息		5
流動資産合計		864, 105, 843
資産合計		864, 105, 843
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬		139, 214
未払委託者報酬		1, 949, 788
その他未払費用		684, 096
流動負債合計		2, 773, 098
負債合計		2, 773, 098
純資産の部		
元本等		
元本		1, 000, 000, 000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）		△138, 667, 255
（分配準備積立金）		△1, 399, 144
元本等合計		861, 332, 745
純資産合計		861, 332, 745
負債純資産合計		864, 105, 843

（2）中間損益及び剰余金計算書

（単位：円）

科目	期別	当中間計算期間 自 平成23年 1月21日 至 平成23年 7月20日
		金額
営業収益		
受取利息		259
有価証券売買等損益		△62,545,830
営業収益合計		△62,545,571
営業費用		
受託者報酬		139,214
委託者報酬		1,949,788
その他費用		441,992
営業費用合計		2,530,994
営業利益又は営業損失（△）		△65,076,565
経常利益又は経常損失（△）		△65,076,565
中間純利益又は中間純損失（△）		△65,076,565
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）		—
期首剰余金又は期首欠損金（△）		△73,590,690
剰余金増加額又は欠損金減少額		—
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—
剰余金減少額又は欠損金増加額		—
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—
分配金		—
中間剰余金又は中間欠損金（△）		△138,667,255

（3）中間注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

期別	当中間計算期間 自 平成23年 1月21日 至 平成23年 7月20日
項目	
有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

当中間計算期間末 平成23年 7月20日現在	
1. 期首元本額	1,000,000,000円
期中追加設定元本額	—円
期中一部解約元本額	—円
2. 中間計算期間末日に おける受益権の総数	1,000,000口
3. 元本の欠損 中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は138,667,255円であります。	

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

当中間計算期間 自 平成23年 1月21日 至 平成23年 7月20日	
該当事項はありません。	

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	当中間計算期間 自 平成23年 1月21日 至 平成23年 7月20日
中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表計上額は中間計算期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（1口当たり情報）

当中間計算期間末 平成 23 年 7 月 20 日現在	
1 口当たり純資産額	861.33 円
（百口当たり純資産額）	（86,133 円）